



われら那高生！(Vol. 3)

☆真・善・美☆

★和歌山県立那賀高等学校★



1 学期終業式にあたって（式辞）

令和4年度がスタートし、4ヶ月が経とうとしています。

ここまで、学校生活を進めてこられたのも、生徒の皆さん一人一人の努力と保護者の皆様のご支援やご協力、それから先生方の指導・支援のお陰だと感謝しています。

しかし、ここに来て、新型コロナウイルス感染症第七波は、予想以上に急速な拡大を見せています。

全国や県のみならず、本校でも同様に影響を受けています。くれぐれもそれぞれが感染症対策を万全にして、日々の取組が滞らないよう創意工夫を凝らして乗り切っていきましょう。

さて、1学期始業式では、清少納言『枕草子』「春はあけぼの」の一節を引用して、日本の四季・自然はどの時代、どの場面においても泰然自若としていて偉大だという話をしました。現状、外に目を向けると、コロナ禍のことや戦争のことなど、日々、殺伐としたニュースが話題となっています。こんなご時世だからこそ、改めて自然の偉大さを見習って、泰山自若の心境でどっしりと構え、目先に囚われて自分の目標を見失わず、失敗を恐れず、最後まで諦めないで取り組んでいこうと伝えました。

また、そのことを実行するために、①「チーム」と「リスペクト」と②新型コロナウイルス感染症に対する心構えについて話しました。

①「チーム」と「リスペクト」については、那高生として本校の様々な活動を通して、自ら鍛え、成長しながら人間力を培い、将来地域社会のリーダーとして貢献できる人材として巣立っていけるよう、自覚を持って互いを「リスペクト」しながら、良い「チーム」作りをして、みんなとともに達成感を味わおうというものでしたが、クラスやクラブなどで互いに「リスペクト」しながら良い「チーム」作りができましたか。

②新型コロナウイルス感染症に対する心構えについては、冒頭でも取り上げましたが、当初想定していた通り第七波がやってきました。これまでの自分自身の行動を振り返ってみると、毎日の健康観察、換気、マスク着用はできてあっても、気の合う仲間とのコミュニケーションを取るために、無意識のうちにソーシャルディスタンスが取れていなかったり、どこかで気の緩みがあったりということはありませんでしたか。また、陽性者との接触があると、特に、高校生を含む若年層の間では、感染の速度がすさまじいことも実感しました。生徒の皆さんは日頃から気を付けてくださっていますが、暑い夏、熱中症対策にも気を付けながら、今以上に意識を高く持って、各自責任を持った行動を心がけましょう。

ちょうど1年前の状況を振り返ると、やはりコロナ禍に翻弄されました。伝統ある文化祭が中止に、その他の行事も通常通りには行えませんでした。リモートによる国際交流は行えたものの、本来の国際交流は滞りました。夏期休業明けの2学期、9月に那高祭（文化祭・体育祭）、10月に遠足、さらに、10月23日（日）には学校創立100周年記念式典と盛りだくさんな学校行事が控えています。また、3学期に予定している普通科修学旅行、国際研修旅行に向けての準備も始まります。現段階ではあくまでも予定ですが、今年度は中止や延期の憂き目を見ないよう、それぞれの行事を実現し、成功させるために、生徒と先生はもちろん、ご家族や地域の方々とも協力して前へ進めていきましょう。

次回、皆さんと会えるのは、8月24日（水）人権映画鑑賞会の後、25日（木）の2学期始業式です。

3年生はいよいよ進路実現を、2年生は目標を定めて進路決定を、1年生は進路先を想定した科目選択の決定を、それぞれ自分自身の方向性を想定して、自主的な行動を起こしてください。決して焦らず、日々の積み重ねを大切に「自分にとって、今、何が必要なのか」をテーマに取り組んでいきましょう。

2学期、皆さんのたくましく成長した元気な姿でお目にかかれるのを楽しみにしています。

「夢なき者に理想なし 理想なき者に計画なし 計画なき者に実行なし 実行なき者に成功なし」吉田松陰
「悔しくて 負けたくなくて 勝ちたくて でも勝てなくて強くなってく」

1 学期後半の主な行事



夏期休業中の主な行事予定

- ①7月31日（土）～8月4日（木）「第46回全国高等学校総合文化祭とうきょう総文2022」
⇒全国の高校生が参集。「文化部のインターハイ」。本校生徒も出品、演奏、演技、競技等で参加
- ②7月21日（木）22日（金）25日（月）「那高生による小学生学習支援ボランティア」…今年度中止
⇒岩出市内の6小学校に出向き、児童への学習支援ボランティア
- ③7月24日（日）～27日（水）「アジア・オセアニア高校生フォーラム」本校から4名の生徒参加
⇒世界共通の諸課題等について意見交換、グローバルな視野で物事を捉える力の養成と他国の高校生との友好と親善を図ることを目的に、「teams」によるオンラインフォーラム